

令和元年度 有料道路コンセッションの取組状況（概要）について

I. 事業報告

(1) 交通量

- 8路線全体の交通量は、令和2年1月までは順調に推移していたが、2月より新型コロナウイルスの影響を受け、結果的に前年度比約0.7%の減少(7,057万台 [H30] →7,010万台 [R1])
- 南知多道路、衣浦豊田道路は増加

(2) 料金収入

- 8路線全体の料金収入は、令和2年1月までは増加傾向であったが、2月より新型コロナウイルスの影響を受け、結果的に前年度比約0.1%の減少(17,462百万円 [H30] →17,448百万円 [R1])
- 各路線が減少傾向となったが、南知多道路、衣浦豊田道路、名古屋瀬戸道路は増加

(3) 収支状況

- 計画上の収支構造として、運営権対価分割金を元利均等払いとしている点も踏まえ、約30年の期間全体で収支の採算を取る仕組みを採用
- 安定的な経営に向け、事業前半で収益をあげる想定
- R1年度の収支実績
 - ・ 会社の償還準備金繰入は27億円
 - ・ 愛知道路コンセッション(株) (以下「ARC」) は当期純利益3.5億円を計上

【評価】

- ・ 全8路線において、実績料金収入が会社の計画料金収入を超えており、契約に基づく需要変動による調整(+6%を超えた分は会社に帰属)を実施
- ・ 会社の償還準備金繰入は計画を上回る実績であり、償還は順調
- ・ 維持管理費削減等の効果などにより、ARCの安定的な経営に向け利益を確保しており、概ね計画どおりの事業運営を確認

II. 主な取組内容

(1) 通常時や災害時における維持管理・運營業務

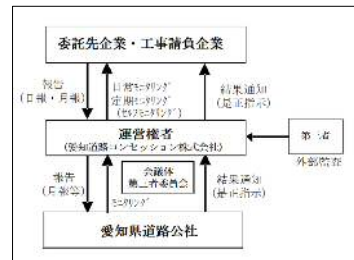
- 公社運営時と同様の管理水準、サービス水準を確保
- 不測の事態に対しても、公社と連携し適切に対応
- ARCが認証取得したISO55001アセットマネジメントシステムに基づく愛知有料道路インフラマネジメントシステムにより、重要管理指標(KPI)の目標値を掲げることで、道路運営の「見える化」を図るとともに、事業目的達成のためPDCAサイクルによる継続的な見直しを通じて、より安全・安心な道路運営及び利用者サービスの向上を実現

(2) モニタリング実施による要求水準の確保

- 会社が要求する水準(要求水準書)の達成状況等を確認するため、セルフモニタリングを実施
- 会議体や中立的な立場の第三者委員会による確認
- モニタリング結果を踏まえた会社からの是正指示に対し迅速に対応



【ISO55001登録証】



【モニタリング概要図】

【評価】

- ・ 業務全体で要求する水準を充足しており、年間を通じて適切な事業運営を確認
- ・ 維持管理・運營業務における不適切な作業方法等全19件について行った是正指示に対し、対応状況を確認

(3) 民間の創意工夫による取組

- ISO 55001 認証維持(導入1年後のサーベイランス審査)
- 維持管理情報のデジタル・クラウド・データベース化
- 電子帳票ソリューション「i-Reporter」の導入
- 新技術の実証実験(愛知アクセラレートフィールド®)
- 1日乗り放題チケットを発売し利用促進
- 地元企業・団体等と連携した地域産品PRイベントの実施(観光PRイベント始め計14回)
- セーフティ・サンタラン in 知多半島2019の開催
- 地域コラボ商品の開発
- 季刊誌の発行(年4回発行)

【評価】

- ・ 1日乗り放題チケットの利用者アンケートを実施し現状把握に努め、今後の利用促進及び利用者サービスの取組みに向けて、着実に展開している
- ・ 地域産品PRイベントを積極的に実施し地域交流を深め、地域の活性化へ向けた取組みを実施している
- ・ 地元食材を使ったメニューや地元商店とアクアイグニスシェフとのコラボ、地元産品を使用した地域ブランド商品の開発を行うなど、地域の魅力溢れる施設展開を実施している
- ・ PAレストランの新メニューやコラボ商品の紹介、PAイベントや地域の情報を配信する季刊誌の発行など、精力的な広報活動を行っている



【新技術の実証実験(愛知アクセラレートフィールド®)】



【季刊誌の発行】



【1日乗り放題チケットチラシ】



【セーフティ・サンタラン in 知多半島2019】



【企画のPRポスター】